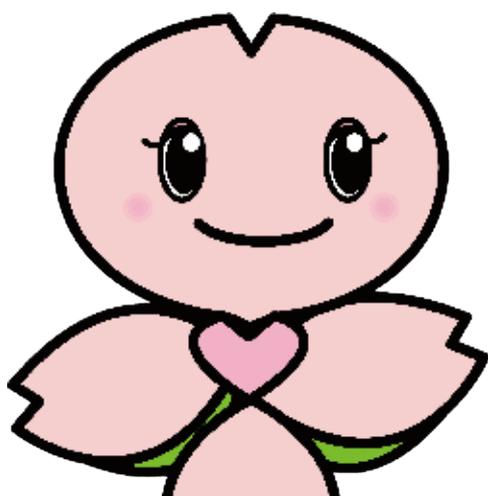




令和元年度

地区懇談会 報告書

主催：南区連合町内会長連絡協議会



南区マスコットキャラクター
みなっち



地域の力応援部長
キラリン

1 南区地区懇談会について

南区地区懇談会は、昭和44(1969)年に『南区区政懇談会』として発足し、毎年開催されています。地域と行政が膝を交えて話し合う場として、また、地域の皆さまが地域の課題を共有し、意見交換ができる場として、区内全16地区連合町内会のエリアごとに開催されており、南区の特徴ある取組の一つとなっています。

開催にあたっては、各地区連合町内会が中心となり、事前の準備から当日の運営に至るまで、自治会町内会の多くの方々によって運営されています。

令和元年度地区懇談会は、5月8日(水)から6月28日(金)までの約2か月にわたり、全16地区連合で開催されました。実施概要についてまとめましたので、報告します。

2 実施概要

主 催	南区連合町内会長連絡協議会
開 催 期 間	令和元年5月8日(水)から6月28日(金)のうち16日間
延べ出席者数	令和元年度 1,121名(地域844名、行政277名) 〔平成30年度 1,113名(地域835名、行政278名)〕
主な出席者	◇ 地域の方々 ◇ 行政(南区役所、南土木事務所、資源循環局南事務所、南消防署、南警察署等)

3 今年度の特徴

■ 参加者は 1,121 名

今年度の地区懇談会には延べ1,121名の方々が参加しました。多くの方に御参加いただき、各地区で活動報告や意見交換がなされました。地区内の学校の先生方や地域ケアプラザ、区社会福祉協議会など、日ごろ地域と密接に取り組んでいる方も多く御参加いただきました。

■ 意見交換を盛り上げる様々な工夫を実施

今年度の地区懇談会も、「防災」を議題に取り上げた地区が多くありました。地域防災拠点訓練の在り方や自助・共助についてなど実際に災害が起こった時に備えて日頃から取り組んでいこうという意見が多く聞かれました。

また、「町内会活動」や「見守り」、「サロン活動」、「担い手づくり」などが議論される地区も多く、生活に密着した身近な話題への関心の高さが見受けられました。

今年度は、グループ討議が昨年度より3地区増え、11地区で実施されたことも特徴です。それぞれの意見を付箋に書いて貼りながらまとめるなど、様々な工夫をしながら運営をされていました。

その他、まちの活性化に向けて議論する、地域で実施している取組の進捗報告を行うなど、各地区、意見交換を盛り上げるため様々な方法を展開しました。

これからも、地区懇談会を通して、地域のみなさまと様々な課題を共有し議論しながら、よりよい地域づくりに向けて共に進んでまいりたいと思います。

4 各地区の実施概要(16 地区連合町内会)

※番号は地区懇談会開催順

(1) 井土ヶ谷地区

日 時	5月8日(水) 18時00分～	
会 場	井土ヶ谷共同ビル集会室	
参加住民	48名	
議 題 と 内 容	<p>(1)各自治会町内会の防災活動 (2)振り込め詐欺防止を中心とした防犯対策</p> <p>各自治会町内会の防災活動の取組について報告された。 また、振り込め詐欺防止について、グループ討議を実施し、実際に知っている事例の共有を図った。被害に遭わないためには、留守番電話機能を設定する、家族で合言葉を決めるなどの意見が出された。</p>	
連長より 一 言	<p>前回より地区懇談会をグループ討議方式で実施。最近では、他の会でもグループ討議を行っているので、活発な意見が多く出て時間が足りないようだった。</p>	

(2) 蒔田地区

日 時	5月10日(金) 19時00分～	
会 場	蒔田コミュニティハウス	
参加住民	55名	
議 題 と 内 容	<p>おもてなしのまちづくり</p> <p>明るく優しいまちづくりに向けて、日頃行っていること、今後実施したいことについて意見交換を行った。あいさつ運動や公園愛護会の活動報告がされ、各グループでは、年に一度おしるこを作って外出できない高齢者に配っているという報告や、まずはあいさつをすることで顔の見える関係づくりを進めていきたいとの意見があった。</p>	
連長より 一 言	<p>当日は会場に人が入りきれないような状況になり、予想していた以上に町の活性化に向け、地域の方々が強い関心を持っていることを実感した。</p>	

(3) 堀ノ内睦町地区

日 時	5月14日(火) 19時00分～	
会 場	睦コミュニティハウス	
参加住民	61名	
議 題 と 内 容	<p>(1)地域防災拠点の現状と課題について (2)高齢者にもできる異世代交流の場づくりについて</p> <p>地域防災拠点の在り方について、それぞれの拠点の現状を情報共有し、実際に大規模な災害が発生した場合には住民みんなで運営していかなければならないということを確認した。また、異世代交流の場づくりについては、会場の問題や担い手不足などの課題について、実現に向けてのアイデアや実際に活動している人からの取組内容などが話された。</p>	
連長より一言	<p>昨年に引き続き議題とした、「地域防災」「高齢化率の高い地域での交流の場づくり」は、今後も地域の課題である。今年度の地区懇談会では、活発な意見交換もあり行政と話し合える良い機会だったと思う。</p>	

(4) 永田みなみ台地区

日 時	5月16日(木) 19時00分～	
会 場	南永田団地1街区集会所	
参加住民	36名	
議 題 と 内 容	<p>助け合い賑わいのあるまちづくりについて (1)見守り隊の活動紹介・意見交換 (2)ほっとサライの活動紹介・意見交換</p> <p>高齢者の見守りを目的に活動している「見守り隊」の隊員を増やすため、口コミの活用や、つながり祭でブースを設けて認知度を高めるなどの意見が出された。また、4月にオープンした「ほっとサライ」について、子どもも楽しめるイベントの開催などの活用方法や、永田中学校の美術部に依頼し、入り口に絵を書いてもらい、サロンのPRをするなどの意見が出された。</p>	
連長より一言	<p>つながり祭や、ほっとサライ等の活動を通じて、地域や学校とのつながりが広がってきていると感じた。</p>	

(5) 北永田地区

日 時	5月17日(金) 19時00分～	
会 場	永田小学校図書室	
参加住民	52名	
議 題 と 内 容	<p>防災拠点活動員の増員について</p> <p>発災時、地域防災拠点の運営を多くの人で担えるようにするため「防災意識を高める工夫」や「防災拠点運営の担い手を増員するためのアイデア」についてグループ討議を実施した。責任者は荷が重いがサポーターとして関わってもらい、初級編～応用編などの説明会を実施する、訓練に参加してもらえるよう実施する時間帯の工夫が必要などの意見があった。</p>	
連長より 一 言	<p>今までの北永田地区懇談会では、意見を述べるのは一部の人だったが、今回のグループ討議では、レベルの差はあるものの全員が意見を述べて盛り上がっていたため、開催の意義は充分にあったと思う。</p>	

(6) 寿東部地区

日 時	5月23日(木) 19時00分～	
会 場	南区役所7階 701-703 会議室	
参加住民	94名	
議 題 と 内 容	<p>地域防災力のあり方</p> <p>～南吉田小学校地域防災拠点訓練について～</p> <p>地域防災拠点について、開設・運営方法を説明した映像を視聴し、理解を深めた。また、今年度実施する地域防災拠点訓練について、どのような訓練メニューがよいかグループで話し合い、区割り訓練や、炊き出し訓練、障害のある方や外国籍の方に配慮した訓練の実施など、様々な意見が出された。</p>	
連長より 一 言	<p>昨年よりも活発に意見交換ができており、合格点がつけられる地区懇談会となった。討議の中で、外国籍の方への対応に関する課題が浮き彫りになるグループが多くあった。</p>	

(7) 中村地区

日 時	5月24日(金) 18時30分～	
会 場	南区役所7階 701・702 会議室	
参加住民	69名	
議 題 と 内 容	地域をみんなで守るために～地域防災拠点について考える～	
	今年度は、地域防災拠点(石川小、中村小、平楽中)ごとのグループをつくり、3つの設問に対して意見を出し合う形式で行われた。いざ災害が起きた時、3つの防災拠点が連携し、地域全体で協力し合えるよう、防災拠点の運営や今後の防災訓練について、考えやアイデアを共有した。	
連長より一言	今年度は初めてグループ討議形式で行った。結果を求めず、皆さまの考えを自由に出していただき活発な意見交換ができたと思う。今回、皆さまから出された御意見やアイデアを今後の防災拠点訓練や運営委員の会議などで活かしていきたいと思う。	

(8) 太田東部地区

日 時	5月25日(土) 18時30分～	
会 場	西中・前里一二・白金一町内会館	
参加住民	42名	
議 題 と 内 容	(1)ひよっこり茶屋活動報告 (2)担い手発掘に向けた取組	
	子どもから高齢者まで多世代が気軽に集える「ひよっこり茶屋」をきっかけに、思いがけない出会いが増え、地域のつながりが広がっているとの報告がされた。また、担い手発掘については、庚台第二町内会でイベントや日々の声掛けを積極的に行い、担い手を確保しているという報告がされた。	
連長より一言	熱心かつ温かい雰囲気懇談が行われた。「ひよっこり茶屋」の活動が定着してきたことを地域で共有することができた。また、担い手発掘のための具体的な工夫や苦勞が披露され、今後の活動につながればよいと思う。	

(9) 大岡地区

日 時	6月4日(火) 18時30分～	
会 場	大岡地区センター	
参加住民	46名	
議 題 と 内 容	<p>自治会・町内会(地域)の防災(減災)力向上を目指して【振り返りと総括】</p> <p>昨年度に引き続き防災力の向上を大きなテーマとし、今年度は、自治会町内会での災害時要援護者支援体制に焦点を絞ってグループ討議を実施した。実際に支援をするには、まず要援護者と支援者の信頼関係が大切であり、日頃から隣近所とのつながり「近助」を推進していくことが大事などの意見が出た。</p>	
連長より 一 言	<p>当日は様々な意見が出たが、これから自分の地域のことをどのようにしていったら良いのか…今後も皆さんと話し合いながら進めていきたいと思う。</p>	

(10) 本大岡地区

日 時	6月6日(木) 18時30分～	
会 場	大岡地区センター	
参加住民	63名	
議 題 と 内 容	<p>未来に向けた住みよいまちづくり Part3 ～町内会活性化～</p> <p>住みよいまちづくりについて、3つのテーマを設け、各グループで話し合った。町内会・自治会加入促進アイデアでは、地域での挨拶を活発にし、顔の見える関係をつくる、役員育成アイデアでは、青年部のまとまりを強くし、次世代の担い手を育成する、困りごと支援アイデアでは、困りごとの内容と連絡先をリスト化し広報を行う、など様々な意見が出された。</p>	
連長より 一 言	<p>住みよいまちづくりは、一人一人のハートから顔の見える関係づくり構築に一層の努力を惜しみなく邁進いたします。</p>	

(11) 六ツ川地区

日 時	6月7日(金) 18時30分～	
会 場	六ツ川一丁目コミュニティハウス	
参加住民	36名	
議 題 と 内 容	<p>連合における子どもたちとのかかわりとこれからの自治会町内会の在り方</p> <p>同地区の地区懇談会では初めてのグループ討議を実施し、連合の子どもたちとのかかわり方について、現状と今後の展望について話し合われた。親が忙しく負担が大きいため、役員だけに頼らず地域全体で取り組んでいきたい、大人も子どもも楽しめるイベントを実施していきたいなどの意見が出された。</p>	
連長より 一 言	<p>グループ討議を初めて導入しましたが、今回のように全員が討議に加わる方式は非常に良かったと思うと同時に、何より非常に楽しかったという声があり、大成功だと感じました。</p>	

(12) 南永田山王台地区

日 時	6月12日(水) 18時00分～	
会 場	永田地域ケアプラザ	
参加住民	39名	
議 題 と 内 容	<p>(1)わが町の交通安全 (2)道の愛称プロジェクトの進捗と今後について</p> <p>わが町の交通安全では、自転車交通安全教室や子供の登下校の見守りといった交通安全活動の報告と、警察署から交通事故発生状況などが紹介された。また、道の愛称プロジェクトの進捗と今後については、道の愛称プロジェクト作成の情報誌を用いて進捗が報告されるとともに、参加者が地域の主要な道に愛称をつけるワークに取り組んだ。</p>	
連長より 一 言	<p>より充実した道の愛称プロジェクトになるよう、地域の団体や学校と連携して取り組んでいきたいと思う。</p>	

(13) 六ツ川大池地区

日 時	6月13日(木) 18時00分～	
会 場	六ツ川台コミュニティハウス	
参加住民	57名	
議 題 と 内 容	<p>地域で安心・安全に暮らしていくには</p> <p>地域の安心・安全のための子ども、高齢者の見守り活動やサロン活動について、普段実践していることやこれから始めてみたいことが話し合われた。道で会った子どもたちには積極的に声をかける、隣近所への目配り・気配りを大切にしたい、サロンで出会った方たちと助け合える関係性を作っておきたいなどの意見が出された。</p>	
連長より 一 言	<p>防災・防犯・福祉の問題には顔の見える関係づくりが大切だと思う。これからは地域の安心・安全のために常に努力していきたい。</p>	

(14) 太田地区

日 時	6月14日(金) 18時30分～	
会 場	太田地区町内連合会館	
参加住民	43名	
議 題 と 内 容	<p>子どもや高齢者の孤独化を防止するために地域でできること</p> <p>地域と学校が繋がることで、子どもたちの成長を一緒に見守っていくことができ、子どもの孤独化防止につながるというお話があった。また、友愛活動推進員、保健活動推進員、民生委員が三者会議を開き、情報共有しながら地域の高齢者を見守っている活動について発表があった。</p>	
連長より 一 言	<p>今年度の地区懇談会を通じて、家庭・学校・地域が連携して子どもを育てていくことや、高齢者の見守りには「近助」が大切だと再確認できたのではないかと思う。</p>	

(15) 別所地区

日 時	6月21日(金) 18時00分～	
会 場	別所コミュニティハウス	
参加住民	57名	
議 題 と 内 容	<p>町内会の活動事例について</p> <p>昨年に引き続き、4町内会から町内会活動の報告が行われた。感震ブレーカーを全戸設置した取組や災害時要援護者支援のための「みまもりたい」の活動、住民へのアンケートを基に地域課題の解決に取り組んだ事例や老人ホームと地域との連携など様々な工夫を凝らした取組が発表された。</p>	
連長より 一 言	<p>それぞれの町内会の特色ある報告を聞いて大いに参考にして今後の活動に取り入れていきたいです。また、出席者の意見交換の場も必要ではないかと思います。</p>	

(16) お三の宮地区

日 時	6月28日(金) 18時00分～	
会 場	お三の宮地区連合町内会館	
参加住民	46名	
議 題 と 内 容	<p>防災・減災について</p> <p>災害が起こった際にどう行動すればよいか、自助と共助の観点から普段取り組んでいることや今後取り組みたいことについて意見交換がされた。水や食料品を使いながら補充するローリングストックを実践しているという報告や連合の家庭防災員が作成した防災マップを使い、避難経路を考えていきたいというお話があった。</p>	
連長より 一 言	<p>今年は「防災・減災」のテーマで例年になく会場に活気があり、多くの御意見を頂戴いたしました。なかでも防災マップ、日頃の心構え、AED利用時の注意点、傘を使った安否確認など、様々なアイデアが発表されました。</p>	

5 参加者のアンケート結果

地区懇談会の在り方や運営方法の改善等について検討するため、地区懇談会に参加された方々にアンケートを実施しています。

今年度も、参加者の約8割に当たる多くの方々から回答をいただきました。アンケートへの御協力ありがとうございました。

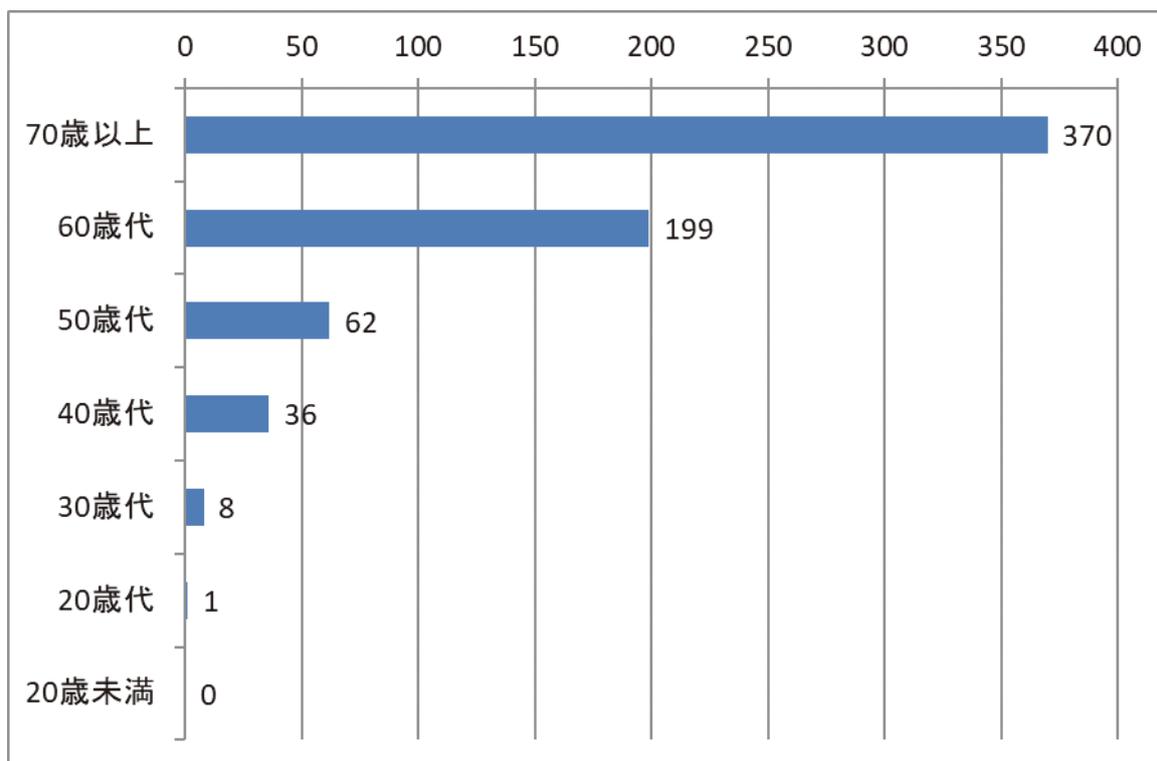
- アンケート回収率 82%（前年度 81%）
- 回答総数 691件（前年度 664件）

■ アンケート内容

【年齢】

20歳未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代・60歳代・70歳以上

【回答数 676件】【無回答 15件】

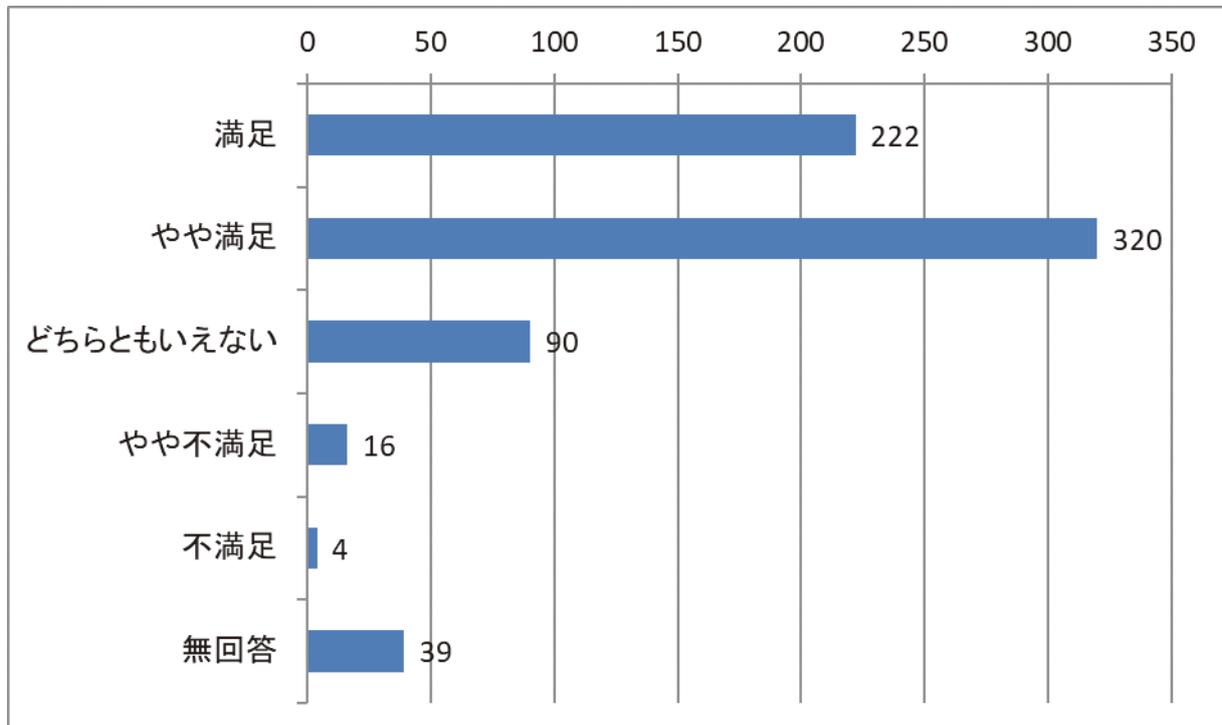


参加者は、70歳以上が最も多く、次が60歳代となっております。あわせて、8割が60歳代以上となっております。また、PTAや子ども会の方の参加もあり、幅広い世代が集まりました。

2. 地区懇談会に参加してみて、いかがでしたか？

満足 ・ やや満足 ・ どちらともいえない ・ やや不満足 ・ 不満足

【回答数 652件】 【無回答 39件】



地域の課題解決を図るため、地域のみなさまに十分に議論をしていただく場として地区懇談会を開催し、今年度も各地区から提案された議題に沿って意見交換が行われました。その結果、「満足」または「やや満足」と回答してくださった方が8割を超え、「地域の方との交流が深まった」「これから自分の地域のことをどのようにしたらいいか皆さんと話し合いながら進めていきたい」等の感想をいただきました。

一方、「もっと多くの若い人に参加してほしい」「役員にならないと開催されていること自体分からない」などの意見も寄せられました。

3. 地区懇談会について、改善した方がよい点はありますか？

・なし

・あり ※「あり」を選んだ方は以下の設問も回答ください

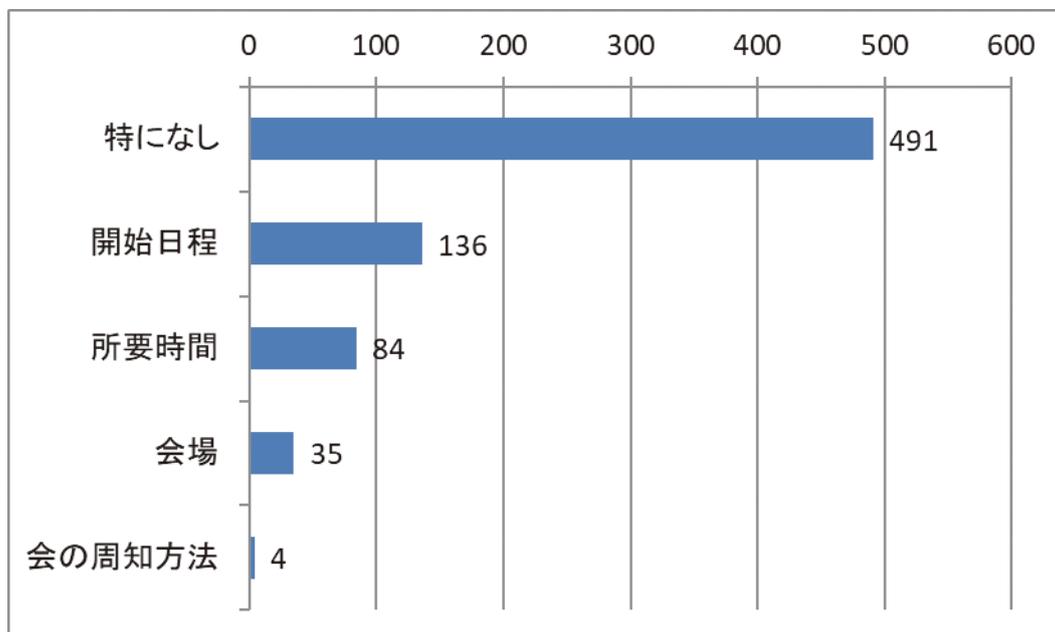
① 開催日程 平日、土曜日、日曜日

② 所要時間 もっと長く(分) /もっと短く(分)

③ 会場 南区役所、地区センター、コミュニティハウス、自治町内会館
その他()

④ 懇談会の周知方法 ()

【回答数 750件】 ※複数回答あり



最も多かった回答が「特になし」で、全体の約7割を占めました。

「改善点あり」の中では、開始日程について、「仕事をしている人も参加できるように土日を希望」という意見が多く寄せられました。

また所要時間については、120分と延長を希望する意見がある一方、60分と短縮を希望する意見もありました。

会場については、地区センターや自治町内会館がよいといった声もありました。

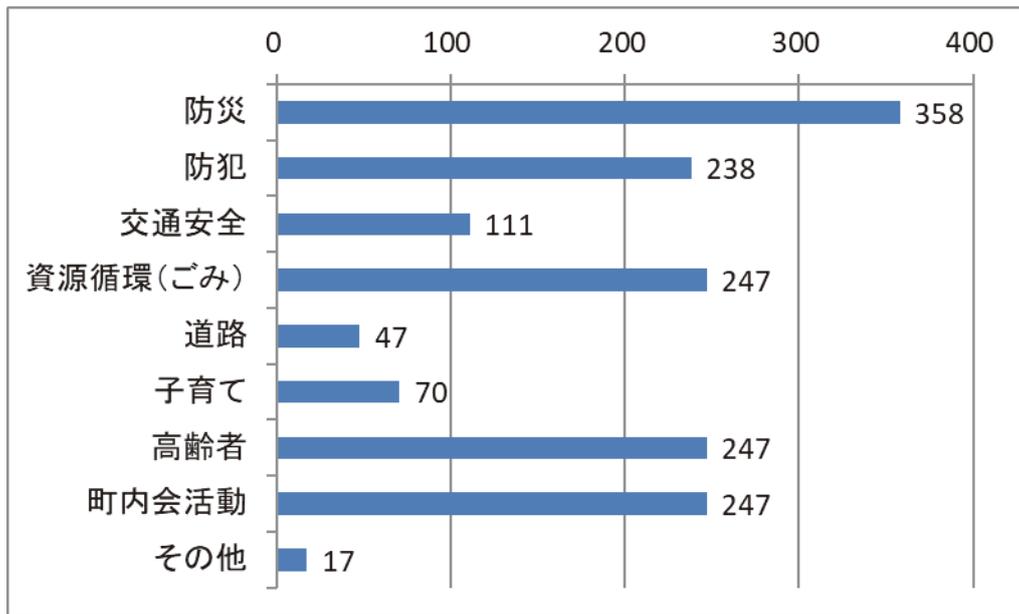
会の周知方法については、「SNSを利用してほしい」等の意見がありました。

4. 地域のみなさんで話し合うとしたら、どのようなテーマがよいですか？

(複数回答可)

- | | | |
|--------|------------|----------|
| ① 防災 | ④ 資源循環（ごみ） | ⑦ 高齢者 |
| ② 防犯 | ⑤ 道路 | ⑧ 町内会活動 |
| ③ 交通安全 | ⑥ 子育て | ⑨ その他（ ） |

【回答数 1,582件】 ※複数回答可



昨年度に引き続き、全体では「防災」が1位となりました。また、「防犯」や「資源循環（ごみ）」、「高齢者」や「町内会活動」についても関心の高さが伺えます。

5. その他、御意見、御要望がありましたらご記入ください。

【回答数 110件】

主な御意見は、以下のとおりです。

- 他町内会の様々な事情や取組について知ることができた。(蒔田)
- いろいろなアイデアが出てよかったが、話合いの時間が足りない。(永田みなみ台)
- もっと多くの若い人に参加してもらい、意見を取り入れたい。(寿東部)
- 災害時に自分ができることから少しずつ実行していきたいと思った。(中村)
- 取組発表が同じ立場としてとても勉強になった。(太田東部)
- 問題を抽出してから話し合うというような構成にしてはどうか。(本大岡)
- 話し合いを通して改めてあたたかい地域だと思った。(六ツ川大池)
- 他町内会と、自分たちの町内会との相違点や類似点が分かってよかった。(別所)

6 住みやすい地域づくりを目指して

地域の課題を話し合い、共有することが地区懇談会の重要な役割の一つです。地区懇談会をきっかけに、さらに住みやすい地域となるよう、話し合いを継続していくことが大切ではないでしょうか。

今年度も熱心な意見交換がされました。地域の皆様が積極的に話し合いに参加してくださることでよりよい地域への第一歩となるでしょう。また、地区懇談会で他町内会の方ともお話をされるなかで、「顔の見える関係」が進んでいくことでしょう。

今後の地区懇談会のさらなる充実に向けて、アンケート結果や他地区の開催状況を参考にさせていただけると幸いです。

また、次頁以降に、よりよい意見交換の進め方について、御紹介しております。地区懇談会に限らず、地域の様々な話し合いの場において、一例として御活用ください。

事務局からの一言

南区役所では、地区懇談会で出た意見を基に地域に寄り添った支援を続けています。

具体的には、南区ソーシャルマガジン「キラリ」にて地区懇談会で取り上げられた地域活動の紹介を行い、地域の魅力づくりや課題解決の参考となるよう取り組んでいます。また、「寺子屋みなみ」や「ちょこっとコーディネーター派遣制度」、「みなみ・ちからアップ補助金」など地域活動への助成の充実も図っています。実際に、制度を活用し、地区懇談会で議題に取り上げた取組を進めている地区もございます。

これからも地域のみなさまと共によりよい地域づくりに向けた取組を進めていきます。



みなっちの ワンポイント・アドバイス



～意見交換の進め方～

令和元年度の地区懇談会では、議論を盛り上げるために、グループ討議や活動発表を取り入れるなど各地区で様々な工夫がされたね！

みんなで意見交換をするには、話し合うテーマや目的を考えることが大切だと思うんだ。そこで、意見交換のステップについてまとめてみたから、代表的な例を紹介するね！

STEP1

議題や視点はどうする？

まずは意見交換を通じて何を進めたいかを明確にすることが大切だよ♪

情報共有・課題解決

地域の現状や活動について情報共有したい

日ごろ課題に思っていることについてみんなで意見交換したい

取組拡大

今行っている取組を拡げたい、参加者を増やしたい

新しい取組を始めたいので、みんなの意見を聞きたい

連携促進

お隣の自治会町内会や他の団体と連携することで、活動を広げたい、担い手の負担を軽減したい

STEP2

どういう場にしたい？

全員が発言できる

全員で一度に情報共有できる

STEP3

議論の方法は？

グループ討議

教室形式

※議論の方法は他にもあります。

STEP4

議論の進め方を考えよう！

- 議題提案主旨を説明
- グループに分かれて、司会者・発表者・書記等を決める
- 各グループで話し合う
- 各グループの意見を発表
- 全体まとめ

- 議題提案主旨を説明
- 事例の紹介
- 全体で意見交換



各地区の地区懇談会の様子

グループ討議

メリット

- ・発言しやすい雰囲気活発な意見交換ができる
- ・全員が発言できる
- ・他の自治会町内会の人と顔見知りになれる

●工夫1

グループで話し合う前に、議題に関する町内会の活動や区役所の取組を発表

- グループで話し合う論点がより明確になる

●工夫2

各グループに各自治会町内会が均等に分かれるよう、受付で振り分ける

- 様々な視点での意見交換ができる、顔見知りになれる

●工夫3

司会者や発表者を事前に決めておく

- スムーズに進行できる



教室形式

メリット

- ・全員が一度に情報を共有できる
- ・来場者数の変化に対応しやすい

●工夫1

人口等データの推移から読み解く現状を区役所から説明

- 議題の背景がより分かりやすくなる

●工夫2

各自治会町内会の取組を発表し、それぞれが抱える課題や工夫について共有

- 他の自治会町内会の様子が分かる、より具体的な議論ができる

●工夫3

座長から具体的な質問を投げかける

- 質問のポイントを絞ることで意見が出やすくなる





発行：令和元年9月

事務局：南区地域振興課地域力推進担当

